

【樹木の部屋】

サンブカス ニグラ ブラックレース
(スイカズラ科ニワトコ属 *Sambucus nigra* 'Black Lace')

和名：セイヨウニワトコ・ブラックレース

別名：エルダー、スユロー・ノワール **英名**：Black Elder

マツムシソウ目 落葉低木 **原産地**：ヨーロッパ、北アフリカ

花言葉：熱心、思いやり、哀れみ、苦しみを癒す人 **花の色**：桃



← 写真-1 サンブカス ニグラ
ブラックレース
撮影日：2016年6月3日
撮影場所：ジュベルニー
(フランス)にて
撮影者：M さん

↓ 写真-2 サンブカス ニグラ
ブラックレースの花
撮影日：2016年6月3日
撮影場所：ジュベルニー
(フランス)にて
撮影者：M さん



↑ 写真-3 サンブカス ニグラ
ブラックレースの葉
撮影日：2016年6月3日
撮影場所：ジュベルニー(フランス)にて
撮影者：M さん



フランス近郊の町、ジュベルニーにあるモネのアトリエから駐車場に戻る途中に植えられていました。遠目には、シダレモミジのベニシダレのように見えました。が、カエデの仲間とは全く異なる葉・花でした。帰国後、調べて見ると、西洋ナナカマド (*Sambucus nigra*) の仲間、ブラックレースでした。

銅葉で葉が細かく分裂してレース状になる有名な品種で、淡いピンクの小花を円錐花序に咲かせます。黒い葉と淡いピンクの花がシックな雰囲気でおしゃれなリーフ樹木として人気があるそうで、本格派イングリッシュガーデンには欠かせない樹木だそうです。

西洋ニワトコはエルダーと呼ばれ、欧米では昔から人気のある庭園樹兼果樹です。ブラックレースはチョコレート色の葉がアメリカで大人気となっている観賞用の品種で、深い切れ込みの入る葉は繊細な風情で、日本のもみじに似た雰囲気もあります。

樹形としては最大でも 2m 強の低木で、剪定で高さを抑えれば、大型の宿根草のようにボーダーガーデン等の花壇植栽に使えるそうです。花のあとには赤黒色の実がつき、収穫すればジャムや果実酒に利用できるそうです。

非常に耐寒性が強く、-35 度まで耐え、日向～半日陰で栽培できますが、春に日当たりのよい場所で育てると葉色が綺麗に出るそうです。花壇や植栽のアクセントとして、あるいはまとめ植えして印象的な風景や垣根を作るのにも適しているそうです。あるいは、宿根草花壇の中に植えてもよく、毎年落葉後に剪定して好みの樹形を保つことができるそうです。

この品種は肥料過多の場合や、勢いよく成長している間は新葉が緑になりますが、生育が落ち着けばチョコレート色に変化してくるそうです。